

公益社団法人能楽協会九州支部  
普及公演

# 2018 聖夜能

Kagetsu  
花月



福岡のクリスマスは

能楽堂で

入場料

一般 3,500 円 学生 2,000 円

※全自由席。当日券500円増し

ペアチケット 6,000 円

※前売りのみ どなたでもお二人でご利用いただけます。

チケット

大濠公園能楽堂 092-715-2155

チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:489-756]

セブンイレブン、サークルK・サンクスにてお求めいただけます。

ローソンチケット 0570-084-008 [Lコード:83277]

ローソン、ミニストップにてお求めいただけます。

主催：公益社団法人能楽協会九州支部

後援：福岡県／福岡県教育委員会／福岡市

【お問い合わせ】大濠公園能楽堂 092-715-2155

12.23 日

13:30 開演 12:30 開場

大濠公園能楽堂

解説

仕舞  
喜多流  
宝生流

巻絹  
クセ

巫女 大島衣恵 地謡 粟谷充雄  
大島輝久 角 明弘

和歌を詠み神に手向けた事で命拾いをした男、その前に神力ありした巫女が現れ、和歌の徳を謡い舞います。

舞囃子  
観世流

邯鄲  
盤渉

和泉式部 久貫弘能 地謡 田村 恭  
山岡晴美  
田中トシ工  
三澤栄子  
鷹尾章弘 地謡 多々島利之  
鷹尾維教  
今村嘉太郎  
井内政徳  
盧生 相原一彦  
横山幸彦  
原岡一之  
吉谷 潔

和泉式部の霊は、生前の和歌の徳により菩薩となって現れます。梅の香によせて、昔を懐かしむ姿をも見せ、方丈の部屋に入っていかと見え姿を消します。

悩める青年廬生は、邯鄲の里で突然帝位に就き、五十年の栄花を目の当たりにする。しかしそれは宿で飯の炊ける間にみた夢のなかの出来事だったのでした。

狂言  
和泉流

蝸牛

山伏 吉住 講  
主 野村万禄  
太郎冠者 吉良博靖

主人から命じられたことが実はわかっていない太郎冠者。「藪の中において頭が黒く腰に貝をつけ、ときには角を出す」ものとはいったいなんでしょう？後半のリズムに、一緒にウキウキとってください。

仕舞  
金春流  
観世流

三輪  
クセ  
通小町  
船弁慶  
キリ

三輪明神 松井笙子 地謡 東 軍三  
田中寿男  
北山春彦  
深草少将 今村宮子 地謡 坂口信男  
今村嘉伸  
今村一夫  
久保誠一郎  
山口剛一郎  
平知盛 森本哲郎

大和の国三輪の里。三輪明神が女姿で現れ、三輪山の伝説、名前の由来を語ります。

百夜通ってくれば望みを叶えよう…女の言葉信じた男は、あと一夜のところで命を落とす。

西国へ下る義経の船を待ち受けていたものは、荒れた海に浮かぶ平家一門の幽霊。平知盛の亡霊は長刀を手に挑んでます。

休憩

能  
宝生流

花月

花月 東川光夫 後見 山岡晴美  
久貫弘能  
旅僧 坂苗 融 地謡 佐野 晋  
高橋憲正  
東川尚史  
上野能寛  
杉岡敏英  
福田清道  
清水寺門前ノ者 河原康生  
笛 森田徳和  
小鼓 飯田清一  
大鼓 原岡一之

諸国を旅する僧は、京都清水寺の門前で小歌を歌い、寺の縁起を曲舞に舞う少年花月に出会います。そして花月こそが幼いころ天狗にさらわれて行方不明の我が子だと気づきます。再会を喜ぶ二人は、共に仏道修行の道に旅立ちます。花月は天狗とともに廻った山々を、八撥を打ち、髭を擦りながら物語ります。「小歌」「曲舞」「羯鼓」「箏」といった中世の芸能をとり入れた芸づくしの曲で、小品ながら見応えのある人気曲です。

終演予定 午後4時15分

◎写真撮影・録音・録画は固くお断り致します  
◎携帯電話の電源をお切りください

●公益社団法人能楽協会九州支部は平成11年に設立されました。シテ方4流儀、ワキ方2流、囃子方8流、狂言方2流、約80名の能楽師が所属しております。普及公演「クリスマス能」は、入場料を比較的安価に設定し、初めてご覧になる方にもわかりやすく観ていただけるように能楽師による解説もごさいます。

公益社団法人能楽協会九州支部

092-715-2155 福岡市中央区大濠公園1-5 大濠公園能楽堂内

●地下鉄大濠公園・唐人町下車  
徒歩5分  
●西鉄バス黒門・大濠公園下車  
徒歩5分

